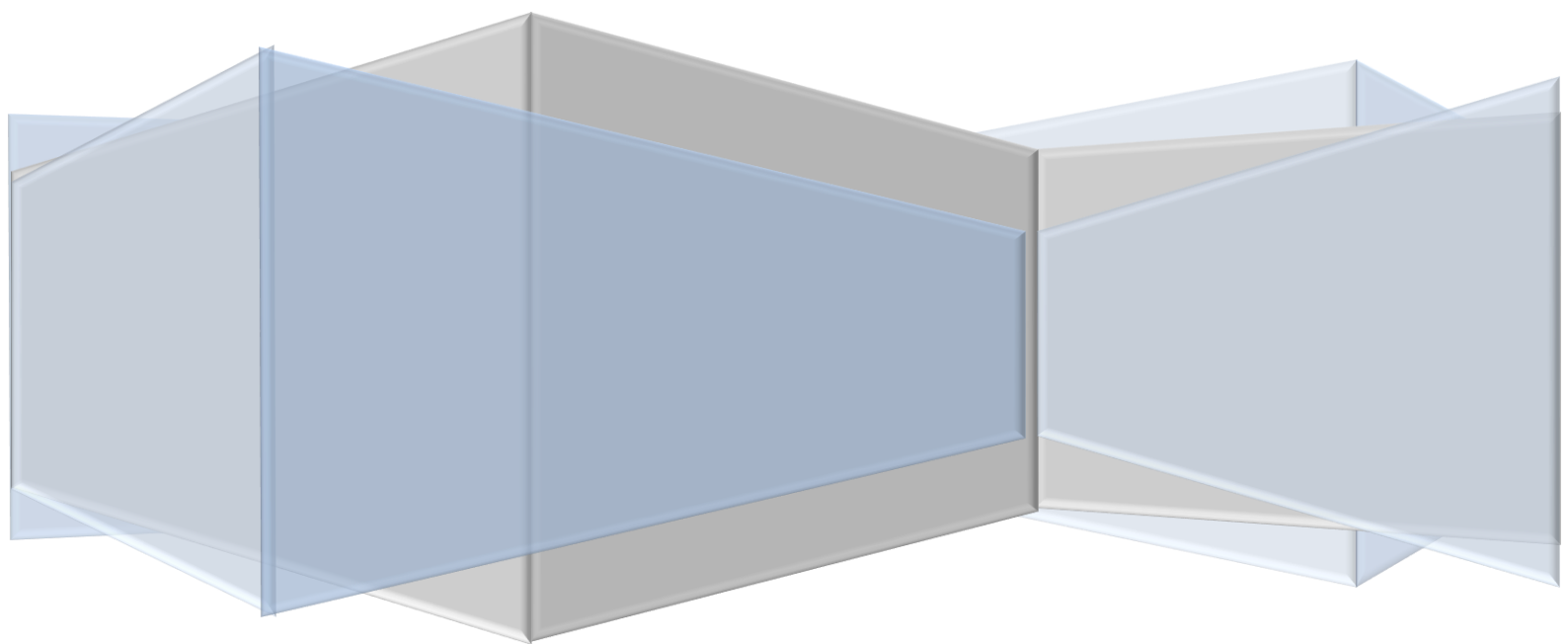


三鷹市観光基本方針

市民が観光大使 ～住んでよし、訪れてよしのまち 三鷹～



平成 29 年 3 月

三鷹市

はじめに

このたび、三鷹市の観光振興の基本となる『三鷹市観光基本方針』を策定致しました。本方針では、三鷹市と関係団体との協働によって設立し、活動してきた「特定非営利活動法人みたか都市観光協会」がこの間掲げてきたテーマである「市民が観光大使 ～住んでよし、訪れてよしのまち 三鷹～」を、市の観光推進の基本理念として定めました。

この理念は、まずは「市民」の皆様、自らも楽しみながら三鷹市の魅力を発見するとともに、魅力を創出していただき、その情報について実感を持って広く発信していただくことによって、市内外から今まで以上に多くの皆様に観光に訪れていただくことを目指すものです。そのことによって、市民の皆様と三鷹市を訪れる皆様の新たな交流が生み出され、市民生活の質の向上や市民の皆様と訪れる皆様の双方の満足度が高まり、さらには地域の活性化が図られることを目指しています。また、三鷹市ではこれまで、市民及び事業者の皆様が、様々な場面で、日常的に市や関係団体と連携、協力しながら、三鷹の魅力を高める活動に取り組まれています。そこで、その市民の皆様が観光に関する活動そのものが「三鷹の魅力」であることから、「市民が観光大使」と表現致しました。

本方針は、平成28年3月に改定した『第4次三鷹市基本計画2022（第1次改定）』で掲げている施策を踏まえ、「市内外からの来訪者の滞在時間の拡大」「みたか都市観光協会等の相談・コーディネート機能の充実」「情報の収集と効果的な発信」など、市が推進する施策の方向性を示すことで、市民及び事業者の皆様と三鷹らしい「民学産公の協働」による観光事業を数多く創出していくための指針となることを期待しています。

三鷹市には、「三鷹市立アニメーション美術館（三鷹の森ジブリ美術館）」や「自然科学研究機構国立天文台」など、これまで多くの観光客を迎えている人気スポットがあり、「都立井の頭恩賜公園」や丸池の里・大沢の里・牟礼の里などの緑豊かな環境があります。

さらに、太宰治、山本有三、吉村昭をはじめとする多くの文学者が住んだまちとして、市内各所にゆかりの場所が残っています。今後は、「ラグビーワールドカップ2019」「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」などの世界的イベントの開催も控えており、三鷹市にも外国人を含めた多くの観光客の来訪が期待されます。本方針に基づき、こうした三鷹市の特徴や状況を最大限に生かしながら、市内外から訪れるあらゆる世代の人々が楽しめる多様な事業の創出を図っていきたいと思います。

結びに、本方針の策定にあたり、ご参加、ご協力をいただきました市民の皆様、事業者の皆様、心から感謝いたしますとともに、本方針の実行において、引き続きの積極的なご参画をお願い致します。

平成29（2017）年3月

三鷹市長 清原慶子

- 目次 -

1. 基本方針策定の背景	1
(1) 国及び東京都などにおける観光推進施策の動向	1
(2) 三鷹市の観光施策	2
(3) 三鷹を取り巻く近年の情勢	3
(4) 観光的視点から見たまちの特徴	3
2. 基本方針の理念及び方針策定の目的	5
(1) 基本理念	5
(2) 方針策定の目的	5
3. 三鷹市の観光の現状と特徴	6
(1) 市内の観光資源の種類と特徴	6
(2) 市民、事業者、関係団体などによる観光の取り組みの特徴と課題	8
(3) 外国人観光客誘致に向けた取り組み	8
4. 三鷹市の観光振興における課題	9
(1) 観光資源の創出と市内滞在時間の拡大のための方策の充実	9
(2) 三鷹ブランド力の強化	10
(3) 個々の観光資源を繋げて魅せる方策の推進（点 ➡ 線 ➡ 面）	10
(4) 事業に取り組む主体者同士の連携・交流の場の提供	10
(5) 市民・事業者による発案の事業化支援や関係団体間の調整などのコーディネート機能の充実	10
(6) 人財育成（担い手づくり）	10
(7) 情報収集・発信手法の充実	10
(8) 受入環境の整備の促進	10
5. 推進する施策の方向性	10
(1) 魅力的な観光資源の発掘・創出及び市内外からの来訪者の滞在時間の拡大	11
(2) 三鷹ブランドの創出・強化の推進	11
(3) 観光資源の連携の促進	11
(4) 主体者・関係団体の連携の促進	12
(5) みたか都市観光協会などの相談・コーディネート機能の充実	12
(6) 観光を担う人財の発掘と育成	12
(7) 情報の収集と効果的な発信	12
(8) 受入環境の整備	13
6. 推進体制・役割分担	15
(1) 市民の役割	15

（２）事業者の役割	15
（３）みたか都市観光協会の役割	15
（４）関係団体の役割	15
（５）三鷹市の役割	15
7. 関連個別計画	16
8. 参考資料	17

1. 基本方針策定の背景

三鷹市には三鷹市立アニメーション美術館（三鷹の森ジブリ美術館）（以下、「ジブリ美術館」）や国立天文台、都立井の頭恩賜公園（以下「井の頭公園」）、三鷹阿波おどりなどの人気の観光資源があります。そして都心に近く交通の便が良い地域であるとともに、玉川上水や大沢、牟礼、丸池の3つの里、市内に広く残っている都市農地など緑豊かな環境や魅力的な景観が数多く残されています。また太宰治や山本有三など多くの著名な文学者のゆかりの場所や、歴史ある神社仏閣、賑わいを創出している商店街など数多くの地域資源があります。それらを活用して市民や事業者、関係団体などにより、市内外から多くの観光客を呼び込む取り組みが実施されており、経済活動の活性化や市民や関係団体同士の繋がりが生まれています。

三鷹市では平成20年に「特定非営利活動法人みたか都市観光協会」が組織され、民学産公の協働による観光振興を図ってきました。今後、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、まちのさらなる魅力向上に向けた観光の取り組みへの期待が高まっています。

そこで、当基本方針では、市の観光における理念を示すとともに、今後、民学産公の協働の取り組みを数多く創出するための指針となるよう、推進すべき施策の方向性を具体的な例示とともに示しました。



【三鷹阿波おどり】

(1) 国及び東京都などにおける観光推進施策の動向

基本方針に基づく観光振興事業の実施に当たっては、国、東京都の関連計画や東京都市長会の政策研究、三鷹市の基本計画のほか、今後の観光に係る社会動向などを考慮する必要があります。

ア 国の動向

国は観光立国推進基本法において、観光を21世紀における日本の重要な政策の柱として定義しています。

平成15年：ビジット・ジャパン・キャンペーン開始
平成18年：「観光立国推進基本法」制定
平成19年：「観光立国推進基本計画」閣議決定
平成20年：観光庁設置
平成24年：「観光立国推進基本計画」改定
平成28年：「明日の日本を支える観光ビジョン」策定

【市区町村の役割】

「観光立国推進基本法」においては、地方公共団体の責務を「自主的かつ主体的に、その地方公共団体の区域の特性を生かした施策を策定し、及び実施する」と規定しています。

イ 東京都の動向

東京都は観光を「多くの産業に経済波及効果をもたらし、飛躍的な成功が見込まれる産業」と位置付け、観光産業振興のためのプランを策定しています。

平成13年：「東京都観光産業振興プラン」策定
平成19年及び平成25年：同プラン改定
平成29年：「PRIME観光都市・東京 ～東京都観光産業振興実行プラン～」策定

※外国人旅行者誘致の強化、観光資源の開発、地域の活性化に向けた魅力の創出や旅行者の満足度を高めるホスピタリティの向上など東京の魅力を高める取り組みを推進

【市区町村の役割】

同プランにおいては、区市町村の主な役割を、「政策の企画・立案」、「各地域における施策の推進」、「広域的な施策の推進、地域の各主体に対する支援」、「観光に対する意識の醸成」などと規定しています。

ウ 東京都市長会の多摩地域に関する政策研究の動向

平成 26 年度：「多摩地域におけるシティプロモーションについて」 まちの魅力向上に向けた今後の多摩地域のプロモーションの方向性に関する政策提言
平成 27 年度：「多摩地域における「まち歩き」のすすめ」 まちの魅力を再発見する手法としての「まち歩き」に関する政策提言
平成 28 年度：「多摩地域をひとつに。多摩地域が一体で取り組む観光地域づくり」 学生との連携、広域連携による観光振興の提言、日本版 DMO 的視点からの考察

(2) 三鷹市の観光施策

ア 第 4 次三鷹市基本計画（第 1 次改定）・三鷹市産業振興計画 2022（第 1 次改定）

「みたか都市観光協会や関係機関との協働により、『住んでよし、訪れてよしのまち 三鷹』の実現に向け、『おもてなし』の心に満ちた都市型観光を推進する」ほか、「外国人と市民が交流を楽しめる賑わいあるまちをめざします」とし、次の主要事業を計画に掲載しています。

【主要事業】

- ・みたか都市観光協会との連携・協働による観光の振興
- ・外国人観光客の回遊性の向上
- ・三鷹フィルムコミッションによるロケの誘致及び情報発信による地域活性化
- ・三鷹らしいコミュニティツーリズム（※1 P16 用語解説参照）の推進
- ・地域資源の発掘、活用による三鷹ブランドの創出・推進

イ みたか都市観光協会の設立と運営支援

市はそれまで各団体が各々推進していた観光施策を一体的に推進するために、商工会が中心となった観光協会の設立及び、設立後の観光協会の運営基盤及び観光協会が関係団体や市民と協働で実施する事業を支援してきました。

【設立までの歩み】

平成 18 年 3 月	「三鷹市における観光振興への提言～市民が観光大使のまち 三鷹～」 三鷹観光振興推進委員会発行
平成 19 年 4 月 2 日	任意団体「みたか都市観光協会」設立総会開催 三鷹商工会を中心に、観光事業の担い手として設立
平成 20 年 4 月 27 日	みたか観光案内所オープン
平成 20 年 8 月 6 日	特定非営利活動法人認証取得
平成 20 年 8 月 20 日	特定非営利活動法人みたか都市観光協会設立

【観光協会の主な事業】

- ・観光案内所の運営
- ・市広報、ウェブサイト、SNS、ポスター・チラシの掲示、配布などによる観光情報の発信
- ・外国人向けキャラクター、マップなどの制作、外国人交流事業、外国人インターンシップ受け入れ
- ・三鷹「通」養成講座、三鷹の森フェスティバル、井の頭公園検定、TAKA-1 などの事業実施
- ・フィルムコミッションによる映画、ドラマなどのロケ受け入れと情報発信

- ・三鷹阿波おどり、三鷹駅前ストリートパーティー、商店会のイベントなどへの協力
- ・事業に取り組む主体者同士の交流の場の創出、相互支援のコーディネート
- ・ジブリ美術館の三鷹市・近隣市民枠チケットの販売 など

(3) 三鷹を取り巻く近年の情勢

ア ジブリ美術館への来訪者状況

ジブリ美術館には、日本を中心に世界各地から年間約 65 万人（うち外国人は約 1 割といわれています）が訪れています。「観光振興に関する資源基礎調査（平成 25 年 3 月 三鷹市）」によれば、美術館を訪れる日本人で、三鷹駅を利用しているのは、往路が 65.1%（吉祥寺駅 15.4%）、復路が 55.1%（吉祥寺駅 24.4%）となっており、多くの来訪者が三鷹駅を利用しています。三鷹駅前にて観光客が立ち寄りやすいカフェや飲食店、短時間でも楽しめるイベントやスポットを PR できれば、来訪者が三鷹駅周辺に少しでも長く滞在する状況を創出することが可能です。

イ ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催

平成 31 年にラグビーワールドカップ 2019、平成 32 年に東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会など世界的イベントの開催が予定されており、東京スタジアム（味の素スタジアム）などが会場として予定されていることから、三鷹市にも外国人を含めた多数の観光客の来訪が期待されます。国立天文台やジブリ美術館など国内外に訴求力の高い観光資源を上手に PR して観光客を誘導し、三鷹の魅力を知ってもらうとともに、来訪者に情報を発信してもらうことが重要です。

ウ 井の頭公園開園 100 年

井の頭公園は平成 29 年 5 月に開園 100 年を迎えることから、年間を通じて様々な団体により記念事業が実施されます。公園の歴史や自然、その他の魅力を市民が再認識し、全国に PR する好機であるとともに、公園を中心とした人々の交流、例えば「かいぼり」や「自然観察などの団体」、「井の頭公園検定」、「アートマーケット」などの活動を軸としたコミュニティの形成と今後の活動の継続・新たな展開が期待されます。

エ 三鷹駅前地区再開発

市では平成 28 年 7 月に「三鷹駅前地区再開発基本計画 2022」を策定しました。5 つの基本的な視点のもとに 5 つの重点事業を設定し、三鷹駅前における歩行者などの回遊性の向上とにぎわいの創出、景観づくりの誘導などによって、三鷹の歴史と文化を生かした質の高い総合的なまちづくりを進めています。三鷹駅周辺の観光資源を生かしながら、三鷹らしい新たな魅力を創出するため、再開発事業による新規の店舗と既存の歴史ある店舗が相乗効果を生むような共生を市民と協働で推進していく必要があります。

オ 周辺市町村の主な動向

隣接する吉祥寺駅には大きな繁華街があり、高い集客力を有しています。また、調布市には駅前の大型店や映画館の開店が予定されているとともに、深大寺（神代植物園）、味の素スタジアムがあり、府中市には大國魂神社、東京競馬場などの観光スポットがあります。今後、三鷹の市域だけでなく隣接市も含めた広域連携での観光振興の取り組みを目指します。

さらに、今後、府中駅南口（第一地区）や調布駅、国分寺駅北口、武蔵小金井駅北口・南口（第二地区）では再開発の実施や検討が進められていることから、それらと明確な差別化を図るため、三鷹駅前ならではの歴史、文化、人々の活動を生かした魅力づくりが望まれます。

(4) 観光的視点から見たまちの特徴

ア 世界的な観光施設や熱烈なファンの集まる観光資源がある

世界中から見学者が訪れるジブリ美術館のほか、井の頭公園、国立天文台、三鷹阿波おどり、みたか太陽系ウォークなど、比較的広い地域から観光客を集客できる観光資源があります。

また、井の頭自然文化園、太宰治関連スポット、山本有三記念館をはじめとした文学者たちの

ゆかりのスポット、新撰組関連のスポットなど、市内外から熱烈なファンを集める観光資源があります。これらはフィルムコミッションによるロケ誘致などと同様に近年注目を集めている「コンテンツツーリズム（※2 P16 用語解説参照）」の資源ともなり得ます。

イ 市民参画によるイベントが多い

三鷹阿波おどり、国際交流フェスティバル、三鷹駅前ストリートパーティー、三鷹駅南口ちょい呑みフェスティバル、三鷹野菜ご馳走さまフェスタ、三鷹コミュニティシネマ映画祭、TAKA-1（タカワン）〈みたかセレクト ONE〉、井の頭公園検定など、関係団体、市民、事業者が連携し、市民参画のもと多くのイベントや事業が実施されています。



【三鷹の森フェスティバル】

ウ 豊かな自然環境、魅力的な景観が残されている

井の頭公園、国分寺崖線沿いに残されている豊かな自然、おいしい野菜を提供する都市農地など観光の魅力でありかつ居住条件としても大きな魅力となる自然環境があります。また、玉川上水を生かした風の散歩道、水と緑を生かした公園、活気のある商店街のイベントなど魅力的な景観が多くあります。

エ 芸術・文化環境が豊かである

太宰治、山本有三など多くの文学者ゆかりのスポットをはじめ、三鷹市芸術文化センター、駅前の三鷹市美術ギャラリーや商店街の中にあるギャラリー、みたか井心亭、昔の三鷹の農家の暮らしに触れることのできる大沢の里水車経営農家などのほか、ジブリ美術館などの世界的なアニメーション関連企業などの集積、世界のアニメーションや日本を中心とした若手クリエイターの作品に触れられる三鷹の森アニメフェスタ、市民が集い企画・運営を行う三鷹コミュニティシネマ映画祭など、芸術や文化に触れられる機会・場所が多くあります。

オ 協働のまちづくりの風土がある

市民が、市民活動を始める人や創業者を応援する風土があり、また、それらを支援する三鷹市市民協働センターや株式会社まちづくり三鷹、三鷹商工会、三鷹ネットワーク大学などの支援機関も整備されています。さらに、団体間の相互連携の動きが活発で、みたか太陽系ウォーク、大沢の里水車経営農家やほたるの里三鷹村、国際交流フェスティバル、三鷹阿波おどり、三鷹の森フェスティバル、丸池の里わくわく村、三鷹「通」養成講座、三鷹コミュニティシネマ映画祭など民学産公の協働による事業が盛んです。また、商店街のイベントなどでの大学・学生との協働も盛んに取り組まれています。

カ その他

市内には芸術文化センター、井心亭、美術ギャラリーなどの芸術・文化に触れることのできる施設、個性的な商店や飲食店、太宰治をはじめとした文学者ゆかりの場所、豊かな自然や公園などの美しい景観、新鮮な野菜や果物の収穫体験ができる農地（農場）などがあり、まち歩きを通して都市の魅力を楽しむことができます。まちに賑わいを創出し、来訪者の滞在時間を長くするために、こうした都市型観光にさらに光を当てていく必要があります。一方で、さらなるまちの賑わいを創出するために、映画館や若者が多く集える商業施設、土産を買える店、家族で遊べる娯楽



【大沢の里】

施設、宿泊施設などの誘致や整備を期待する意見もあります。

2. 基本方針の理念及び方針策定の目的

以上、三鷹市の観光に関する取り組みの状況やまちの特徴を踏まえて、当方針の基本理念及び策定の目的を以下のとおりとします。

(1) 基本理念

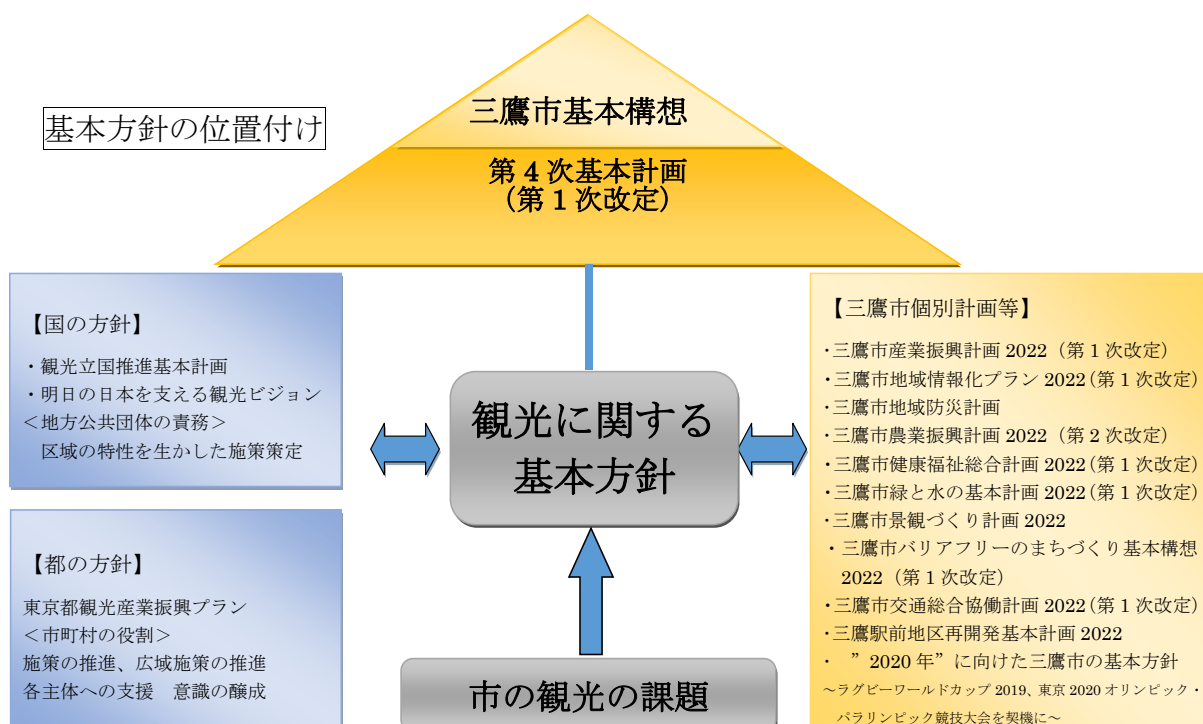
三鷹市では市民、市民団体、商店街などの事業者、関係団体と市の協働により、多くの観光事業が生み出されてきました。みたか都市観光協会では、「市民が観光大使～住んでよし、訪れてよしのまち 三鷹～」をテーマに掲げ、事業者や市民とともに三鷹の魅力を発見・創出し、その情報を広く発信することで、市内外から多くの観光客や事業を担う仲間を集め、三鷹のファンを増やしてきました。また、市の第4次基本計画（第1次改定）においても、市の観光振興の基本的な施策の方向性としてこのテーマが示されていることを踏まえ、改めて当基本方針において次の理念を定めます。

理念：市民が観光大使 ～住んでよし、訪れてよしのまち 三鷹～

三鷹市では市民が主体となって様々な団体と連携・協働しながら、まちの魅力を高める活動を実践しており、その活動の様子や、取り組みの姿そのものが「三鷹の魅力」であり、市内外への魅力発信ともなっているという意味合いも込めて「市民が観光大使」と表現をしています。

(2) 方針策定の目的

基本方針では、市が民学産公の協働で取り組む観光施策の方向性、推進体制、主体ごとの役割分担を示し、多様な事業を創出し市内外に三鷹のファンを増やすとともに、まちの賑わいづくりと市民・来訪者との交流を推進し、地域の経済・産業、文化の振興を図ることで「住んでよし、訪れてよしのまち 三鷹」を実現することを目的とします。



3. 三鷹市の観光の現状と特徴

(1) 市内の観光資源の種類と特徴

三鷹市内の観光資源の種類別の事例と特徴などは、以下のとおりです。

ア 自然環境（景観・風景・動植物）

- ① 事例：井の頭公園、野川及び野川公園、国分寺崖線沿いの緑、丸池の里、大沢の里、牟礼の里、北野の里（仮称）、武蔵野の森公園、神田川、玉川上水、風の散歩道、都市農地など
- ② 特徴：
 - ・市内には井の頭池や国分寺崖線などを中心に豊かな自然環境が残り、都市農地も多く、豊かな自然環境に加えて緑豊かな景観を形成しています。
 - ・これらは家族や仲間との憩いの場、自然観察活動やイベントの会場となっており、地域住民の満足度を高めています。
 - ・市民ガイドの育成、見学会やワークショップ、風景写真コンテスト、市民との協働による環境や景観の保全・啓発活動など、身近な自然に興味を持ち、人々の交流を生み出すような事業の推進が期待されます。



【風の散歩道】

イ 芸術・文化・歴史

- ① 事例：ジブリ美術館、三鷹市美術ギャラリー、三鷹市芸術文化センター、みたか井心亭、三鷹市星と森と絵本の家、大沢の里水車経営農家、三鷹市山本有三記念館、太宰治文学サロン、文学者の墓（三木露風、太宰治、森鷗外）、文学碑（玉鹿石、野口雨情歌碑、中田喜直歌碑）、井の頭地区や大沢地区の遺跡、柴田勝家兜埋納伝承地（勝淵神社境域）、三鷹八幡神社、春清寺、井口院、大盛寺、井の頭弁財天、鷹場の碑、近藤勇墓（龍源寺）、玉川上水や用水路、各地神社の祭りなど
- ② 特徴：
 - ・年間約 65 万人（うち外国人 1 割程度といわれる）の集客があるジブリ美術館のほか、美術ギャラリー、文学者関係の観光スポット、市民が音楽や演劇、茶道・寄席などに触れ合える三鷹市芸術文化センターやみたか井心亭などがあります。
 - ・太宰治に関連する事業としては、作品の朗読会、桜桃忌、市民ガイドによる太宰の足跡めぐりなど多様な取り組みが見られ、全国から熱意を持ったファンが訪れます。
 - ・文学者やまちの歴史をテーマとした、まちへの興味を喚起する講座やフィールドワークなどの事業の創出、これらを題材とした市民ガイドの育成に期待できます。
 - ・現在、新たに太宰治文学館（仮称）及び吉村昭書斎（仮称）の開設に向けた取り組みも始まっています。

ウ 科学・教育・研究

- ① 事例：国立天文台、宇宙航空研究開発機構調布航空宇宙センター（JAXA～三鷹市・調布市）、海上・港湾・航空技術研究所、国際基督教大学、杏林大学、東京神学大学、ルーテル学院大学、三鷹ネットワーク大学推進機構、天文・科学情報スペースなど
- ② 特徴：
 - ・国の高度な研究施設や大学などがあり、施設見学をはじめ、太陽系ウォークなど専門知識を生かした事業や、研究者や大学生との協働による観光振興が期待できます。
 - ・三鷹ネットワーク大学推進機構を中心とした市民講座の開催や、天文・科学情報スペースの運営など学術研究の観光への応用が期待できます。

- ・これまでの生涯教育の取り組みと合わせて、「三鷹で楽しく学ぶ」という新しい観光的魅力を創出することができます。

エ 産業

- ① 事例：商店街、飲食店、都市農業（農家）、三鷹産業プラザ、三鷹ハイテクセンター、牟礼研究開発センター、SOHO 集積施設、ファブスペースみたか、株式会社富士重工業（SUBARU）の展示室、高い技術力を有する工業（工場）、世界的アニメーション関連会社など
- ② 特徴：
 - ・魅力的な商店街や飲食店の創出による回遊性の向上及び来訪者の滞在時間の拡大とそれに伴う観光消費の拡大が求められています。
 - ・農家の直販所めぐりや収穫体験（観光農園）などの日帰り農業観光、世界的技術を有する工場などの見学会、アニメーション制作会社との連携による地域コンテンツ制作やイベント開催など、産業観光の推進が期待されます。
 - ・商店街の店主との交流や工業技術の見学など産業観光は「知る」、「学ぶ」要求にも応えることのできる貴重な観光資源です。まちゼミや工場巡りなど事業の創出が期待されます。

オ イベント、エンターテインメント、体験など

- ① 事例：三鷹阿波おどり、国際交流フェスティバル、八幡神社の例大祭、ふるさと三鷹ふれあい夏まつり、M・マルシェ、100円商店街、三鷹の森フェスティバル、三鷹駅南口ちよい呑みフェスティバル、みたか観光ガイド協会による太宰治の足跡ガイド、桜桃忌、みたか太陽系ウォーク、三鷹駅前ストリートパーティー、三鷹の森アニメフェスタ、三鷹コミュニティシネマ映画祭、銭湯体験（スタンプラリー）など



【ふるさと三鷹ふれあい夏まつり】

- ② 特徴：
 - ・商店街や市内産業、学術研究機関、市民活動との連携によるイベントが数多く実施されています。
 - ・商店街・市民が主体となり、関係機関と連携して企画・運営されるユニークな取り組みが人々の繋がりから創出されています。このことを通じて、「三鷹はいつも何かが起きている街」というイメージを生み出すことが可能です。
 - ・三鷹駅前ストリートパーティーなど各イベントの連携による効果的な情報発信の試みも見られます。

カ 三鷹ブランド 特産品

- ① 事例：TAKA-1（みたかセレクト ONE）、キウイフルーツ、キウイワイン、ぎんなん
- ② 特徴：
 - ・三鷹の土産として毎年新たな商品が TAKA-1 に認定されており、市民の認知度も徐々に高まっています。
 - ・キウイフルーツやキウイワインは三鷹の特産品として高い知名度があります。
 - ・商品の品質向上や、新規販路開拓、イベントとのコラボレーション、市民団体との協働などにより、市民の認知度のさらなる向上とその活用を促進する必要があります。
 - ・特産品をどうやって発展させていくかをテーマとした、新たな観光的な繋がりが地域内に創出される可能性があります。

(2) 市民、事業者、関係団体などによる観光の取り組みの特徴と課題

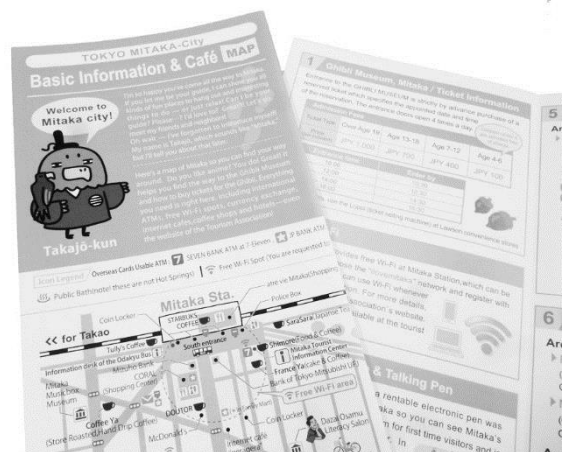
市民、事業者、関係団体など、主体別の取り組みについては、以下のような特徴が見られます。

ア 商店街・飲食店による取り組み

- ・ 三鷹中央通り商店会の歩行者天国を活用した「ふるさと三鷹ふれあい夏まつり」、「M・マルシェ」(星マルシェ・クリスマスフェスタ)、コラル商店会による「多言語ウェブサイト」の制作、三鷹台商店会による「100円商店街」、複数イベントの同時開催による相乗効果を狙った「三鷹駅前ストリートパーティー」、農家・JA東京むさしと飲食店・商店街の協働による「三鷹野菜ご馳走さまフェスタ」、飲み歩きイベントである「三鷹駅南口ちよい呑みフェスティバル」など、市民や事業者自らの手による工夫に富んだ多くの事業が実施されています。
- ・ 事業収入に見合った事業を計画しているケースが多く、小さく始めて徐々に大きく育てようとする傾向がみられます。
- ・ 周知が十分に図られていないこともあり、効果的な情報発信による市内外への周知により、更なる誘客が見込めます。

イ 市民団体による取り組み

- ・ 市民が集まって始めた「みたか観光ガイド協会」による太宰治など文学者の足跡ガイド、みたか都市観光協会企画委員会による外国人向け三鷹駅前案内マップの制作、三鷹ちよい呑み実行委員会による「三鷹駅南口ちよい呑みフェスティバル」、三鷹阿波踊り振興会による「三鷹阿波おどり」、市民団体による文化交流を目的とする外国人交流事業などがあります。
- ・ 市民自らが実施する事業の自主性を尊重しつつ、事業の質の向上、公共性・継続性の確保を図れるよう行政や関係団体が支援していくことで、持続性のある事業となる可能性があります。



【外国人向け三鷹駅前案内マップ】

- ・ 田植えや地域の神社のお祭りなど、地域のイベントや風習は、実施主体者に観光資源と認識されていないものもあり、市民による魅力の発見、SNSや口コミによる情報発信によって観光資源として認識されていく可能性があります。

ウ その他関係団体による取り組み

- ・ 株式会社まちづくり三鷹による「三鷹産業プラザまるごと夏まつり」、三鷹国際交流協会(MISHOP)による「国際交流フェスティバル」、三鷹商工会による「商工まつり」、東京むさし農業協同組合による「三鷹市農業祭」、ジブリ美術館・みたか都市観光協会及び市で共催する「三鷹の森フェスティバル」、三鷹ネットワーク大学推進機構・国立天文台・事業者及び市民との協働による「みたか太陽系ウォーク」などがあります。
- ・ 行政と関係団体との連携が緊密であり、相互活用や相互支援も見られます。今後のさらなる連携強化により大きな効果が期待できます。

(3) 外国人観光客誘致に向けた取り組み

現在、市内でみたか都市観光協会や国際交流協会、商店会などで実施されている外国人観光客向けの施策には以下のようなものがあります。

ア ソフト施策など

① みたか都市観光協会による取り組み

- ・市民との協働により多言語（英語・中国語）によるテーマ別（カフェ、和食など）の三鷹駅前案内マップを制作・配布
- ・外国人向け案内キャラクター(たかじょうくん)の制作
- ・音声ペンを使った四か国語（日本語、英語、中国語、ハングル）の音声案内機能付マップ（みたか散策マップ）を1万部/年の無償配布
- ・市民による外国人交流事業（銭湯体験、和食づくり、文化交流など）への支援



【たかじょうくん】

② 商店会による取り組み

- ・商店会による多言語ウェブサイト制作やインバウンド観光意識調査 <三鷹コラル商店会>
- ・大学と連携した留学生インターンシップの受け入れと協働 <泰成商店会>

③ 多様な実施主体による取り組み

- ・地元企業・NPOなどと大学などとの連携による留学生インターンシップの受け入れと協働
- ・市民団体、商店会、みたか都市観光協会による「商店街おもてなし英会話教室」の試行
- ・東京都、みたか都市観光協会、三鷹国際交流協会の連携による「外国人おもてなしボランティア講座」の開催
- ・災害時の外国人の避難所などへの誘導について連携方法を検討中<市、観光協会、国際交流協会>

イ ハード整備など

- ・市の玄関口である三鷹駅前デッキ周辺を中心に、市内の案内・誘導サインの多言語化を平成28年度より推進<市>
- ・三鷹駅前に無料公衆無線LAN（Wi-Fi 三鷹）を整備（平成25年）
登録手続きや規格などについて、更なる利便性向上にむけた取り組みを推進
- ・コンビニエンスストアや飲食店などでも独自のWi-Fiを導入（外国人向け駅前案内マップに掲載<市、まちづくり三鷹、観光協会>）

ウ その他

- ・免税商品の販売は一部のコンビニエンスストアで対応
- ・外国通貨の両替は市内の一部金融機関にて対応
対応時間などの面から十分ではなく、他地域の外貨両替ショップが利用されている状況
- ・海外銀行発行のキャッシュカードは、一部のコンビニエンスストア及びゆうちょ銀行設置のATMが対応（外国人向け三鷹駅前案内マップに掲載）
- ・SIMカードの販売支援の検討

4. 三鷹市の観光振興における課題

現状の観光資源や、市民、事業者の取り組みを生かし、さらに市内の観光を振興していくためには以下の課題があります。

（1）観光資源の創出と市内滞在時間の拡大のための方策の充実

三鷹市の観光振興を推進する上では、ジブリ美術館、国立天文台、井の頭公園などを来訪した観光客が、さらに駅前や市内を回遊したくなるような観光スポット、魅力的な飲食店や喫茶店、和文化体験などのサービスを増やし、市内で過ごす時間を長くすることで観光消費の拡大や市民との交流の機会を増やしていくことが重要です。

(2) 三鷹ブランド力の強化

「三鷹といえば～」のようにイメージしてもらえるような、観光スポットの創出やまちの雰囲気、特産品の開発など、ブランドの創出とそのPRが重要です。

(3) 個々の観光資源を繋げて魅せる方策の推進（点 ⇒ 線 ⇒ 面）

個別の取り組みは情報発信力が不足しがちなため、同様なスポット、歴史、文化など様々なテーマ毎に繋げて魅せることによって新たな価値を生み出し、情報発信力を高めていくことが重要です。

(4) 事業に取り組む主体者同士の連携・交流の場の提供

常に新しい観光資源やまちの魅力を生み出していくためには、事業主体者やこれから何かやりたいと考えている市民・事業者が交流し、新たな事業を創出していくための場の提供や主体者同士の連携を支援していくことが重要です。

(5) 市民・事業者による発案の事業化支援や関係団体間の調整などのコーディネート機能の充実

より多くの事業を創出し、関係者が効果的に連携していくためには、みたか都市観光協会が何かを始めたい市民・事業者の相談窓口となり、各団体の事業の調整などのコーディネート機能をさらに発揮することが必要です。

(6) 人財育成（担い手づくり）

新たな魅力の創出や事業の継続的な推進のためには、市民、関係団体、大学などとの連携に基づき観光の担い手となる人財を常に発掘・育成していくことが重要です。

(7) 情報収集・発信手法の充実

市内の観光関連情報の収集を十分に行う必要があるとともに、周知が不足しているため集客が十分にできていない観光事業も見受けられることから、効果的な発信方法について研究し実践していく必要があります。また、情報発信においては、外国人向けの多言語化された情報を発信することも重要です。

(8) 受入環境の整備の促進

来訪者に多くの時間を三鷹で過ごしてもらうためには、まちの安全・安心に加え、楽しさや快適さを感じる環境を提供する必要があります。道路案内標識、Wi-Fiなどのハード整備や、商店街のおもてなしの雰囲気づくり、災害時の誘導・案内体制など、関係者が連携して取り組んでいく必要があります。

5. 推進する施策の方向性

前述の課題を踏まえ、地域の観光資源を有効に活用し、本方針の理念である「市民が観光大使 ～住んでよし、訪れてよしのまち 三鷹～」を実現するため、施策の方向性を以下のとおり定め、市民や事業者による新たな観光資源の発掘、関係者の交流や情報共有の場の提供、人財の育成、市民や留学生と連携した情報発信、観光客の受入環境の整備などにより、観光を担う市民や事業者の取り組みの活性化と市内外から訪れるあらゆる世代の人々が楽しめる民学産公の協働による多様な事業の創出を図ります。

【凡例】

市民：在住、在勤、在学、市民団体含む 事業者：商店、サービス業、工業の事業者など

観光協会：みたか都市観光協会 市：三鷹市

関係団体：三鷹商工会、JA東京むさし、三鷹国際交流協会、三鷹ネットワーク大学推進機構、三鷹市民協働ネットワーク、大学などの教育機関、株式会社まちづくり三鷹、（公財）スポーツと文化財団 など

○は主な実施主体を示します。●はその中でも特に主体となるべき団体を示します。

(1) 魅力的な観光資源の発掘・創出及び市内外からの来訪者の滞在時間の拡大

市民・事業者などによる新たな観光資源の発掘や創出を促し、市内外からの来訪者の増加と滞在時間の拡大を図り、市民の地域愛の醸成や産業・経済の活性化を図ります。また、魅力的な自然、景観、文化財の創出・保全や、和 문화体験など新しいサービスの振興、商店街など産業との連携などにより魅力的な観光資源を発掘・創出します。



【例示】

- ア 市民などによるまちの魅力の再発見、楽しみの創出、情報発信
 - ・市民などによる SNS などを使った情報発信、情報誌作成、ウェブサイトへの投稿など
 - ・市民や学生、留学生などが三鷹の歴史や自然、まちの魅力を学ぶ講座やフィールドワークの実施
 - ・学生と市民ガイドの協働によるまち案内
 - ・地域の日常生活の中にある、まだ気づかれていない観光資源の発見と発信
- イ 魅力ある景観及び自然環境・文化財などの保全・創出・活用
- ウ フィルムコミッションの活用によるまちの魅力の再発見及び PR、ロケ地活用
- エ 魅力的な店舗誘致やチャレンジショップ、新サービスの創出支援制度の充実
- オ 商店街の活性化
- カ 工業、農業、アニメ産業、国立天文台、三鷹阿波おどり、みたか太陽系ウォークなどの観光資源とコラボした新規事業づくり
- キ イベントの運営や飲食店の工夫ある取り組みへの支援
- ク 市民・観光客のまち歩きや交流の場の創出支援
 - ・外国人を含む来訪者が楽しめる三鷹の歴史や産業を生かしたまち歩きやお店を巡るバルの実施
 - ・コミュニティカフェ・飲食店の運営、体験型観光、メニューの多言語化、市民や商店による「コミュニティツーリズム」の実施など

(2) 三鷹ブランドの創出・強化の推進

三鷹ならではの、地域の特徴を生かした特産品やサービス、おもてなしの雰囲気を生み出していく事業を推進します。



【例示】

- ア おみやげ品・特産品・サービスの開発及びブラッシュアップ
- イ ユニークな製品の開発支援、地元色豊かな飲食店、名物料理の創出と発信
- ウ 三鷹らしいイベントや交流を創出する文化、おもてなしの雰囲気の醸成

(3) 観光資源の連携の促進

個々の観光スポットやコンテンツをテーマごとに繋げて魅せていく事業や、事業の相互連携、共同開催などを支援・推進します。



【例示】

- ア テーマ別のマップ配布、観光コースの作成・提示、イベントカレンダー作成
 - ・三鷹×文学、三鷹×農業・工業、三鷹×江戸の暮らし、三鷹×自然 など
- イ 事業の合同開催、連携事業
 - ・三鷹駅前ストリートパーティーなど
 - ・太陽系ウォーク+TAKA-1、M-マルシェ+外国人向け和 문화体験など

(4) 主体者・関係団体の連携の促進

観光事業の主体者と関係団体との交流や情報共有の場の提供を図る事業、大学・学生との連携を図る事業を支援・推進します。

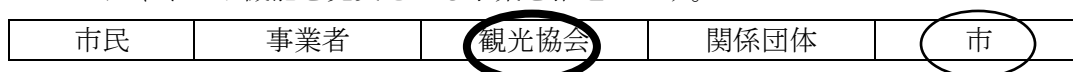


【例示】

- ア 観光関連行政機関、事業者・市民団体などによる連絡会の設置などのネットワーク化の推進
- イ 事業に取り組む主体者同士の交流・相互支援の場の提供
- ウ 大学・学生との協働の場の創出

(5) みたか都市観光協会などの相談・コーディネート機能の充実

みたか都市観光協会による、何かを始めたい市民・事業者の相談窓口機能や各団体の事業の調整などのコーディネート機能を充実させる事業を推進します。



【例示】

- ア みたか都市観光協会による相談・コーディネート機能の充実
 - ・相談体制の充実
 - ・企画委員会の充実
- イ 市の後援・共催などによる市民などが実施する事業の質の向上、公共性・継続性の確保

(6) 観光を担う人財の発掘と育成

観光に興味のある人財の発掘・育成のほか、潜在的な担い手に対する意識啓発などを推進します。また、まちの魅力を伝える上で重要なガイドや道案内を担う人財の育成を推進します。



【例示】

- ア 交流・情報交換の場における人財の発掘と既存の活動・ネットワークへの参加促進
- イ 国や都などが実施する人財育成のための各種講習会や研修会の積極的活用
- ウ 大学や既存の市民団体などとの連携推進による人財の育成と活用
 - ・まちの語り部、案内役としてのみたか観光ガイド協会、いきいきプラスなどとの連携強化
 - ・観光協会企画委員会の運営と市民協働の推進
- エ 自らの活動と観光の関係性を認識してもらうための啓発
 - ・地域の固有の文化行事・イベントの担い手、環境保護・保全活動の担い手、製造事業者など

(7) 情報の収集と効果的な発信

みたか都市観光協会への観光情報の集約や、市民・学生との協働による効果的な情報発信について取り組みます。また、訴求力の高い観光資源のイメージを活用した三鷹への観光客の誘致などを推進します。



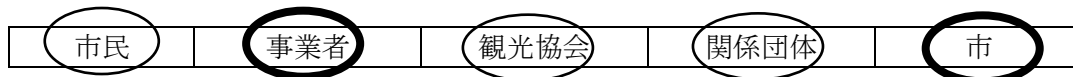
【例示】

- ア みたか都市観光協会への情報集約の仕組みづくり
 - ・市や関係団体との連携
 - ・チラシなど掲示スペースでのPRなど
- イ 訴求力のある観光資源（ジブリ美術館、国立天文台、三鷹阿波おどり、文学者の足跡など）のイメージを活用した戦略的な情報発信による誘客促進
 - ・天文台のあるまち、阿波おどりのまち、文学者のまちのイメージを活用した発信など

- ウ 多様な媒体・手法を活用した三鷹の観光関連情報の発信の推進
 - ・マスメディア、地域情報誌、SNS、ウェブサイト、アプリ、横断幕、広告、パンフレット、マップなど
 - ・写真コンテスト、SNS による魅力的な景観やまちの営みを映した写真の拡散による魅力発信の推進
- エ 留学生や大学生、三鷹国際交流協会との協働による地域情報の多言語発信
- オ 市民、事業者、大学生の目線による効果的な情報発信
 - ・市民、大学生、留学生などとの協働による情報発信
 - ・情報発信のプロや先進地域の技を学ぶ場の提供
- カ 三鷹のキャラクターを活用した情報発信
 - ・Poki（市）、たかじょうくん（観光協会）、みののん（商工会）などの活用
- キ 効果的な情報発信手法に関する調査・研究の実施
- ク 三鷹の観光に関する包括的な実態調査・情報収集研究の実施

(8) 受入環境の整備

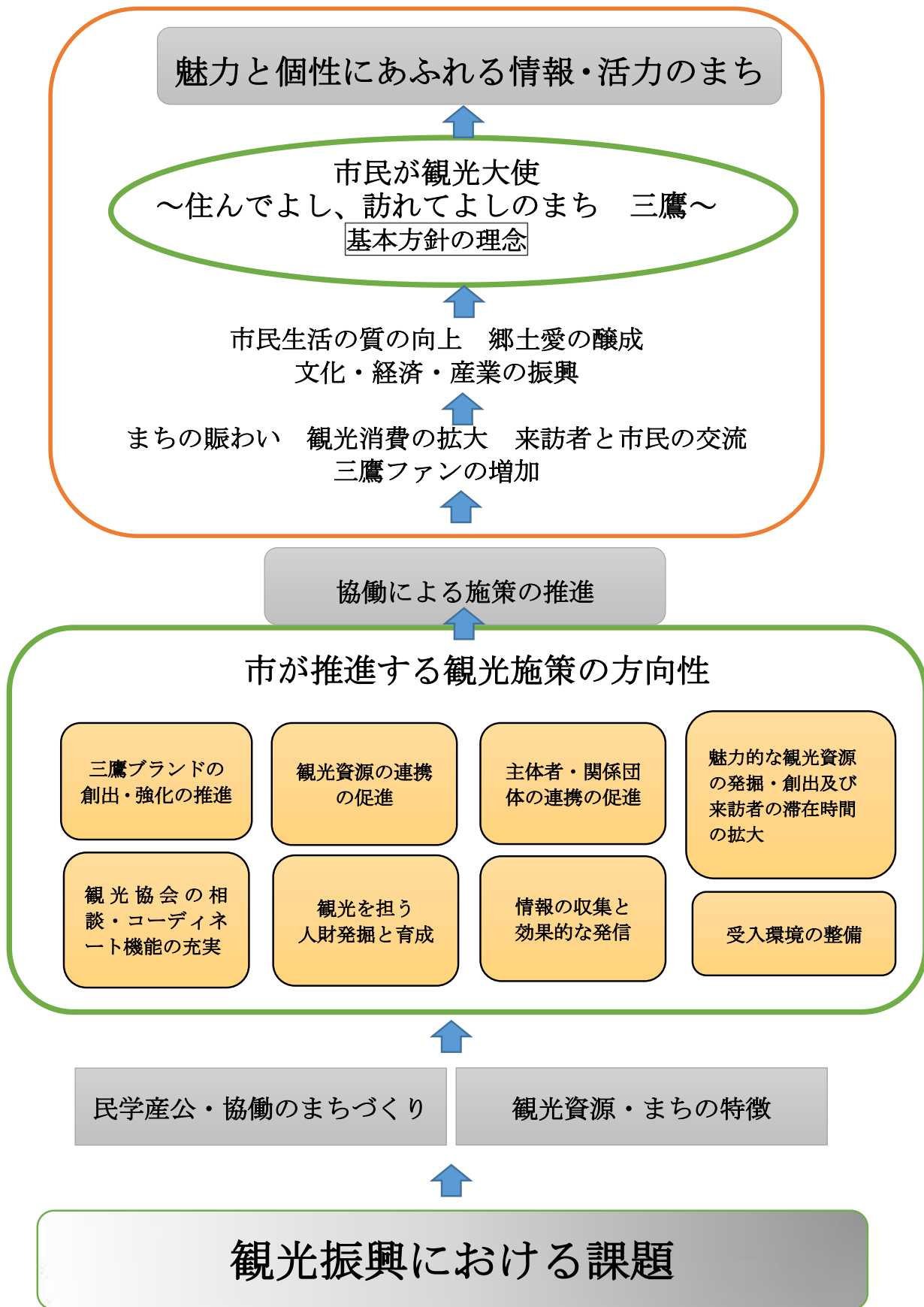
三鷹市への来訪者に安全・安心に加え、楽しさや快適さを感じてもらえるよう、おもてなし機運の醸成を図るとともに、わかりやすい道案内や標識の設置、市民によるガイドの実施、Wi-Fi などの通信手段の整備、カード決済の普及啓発、災害時などの外国人への案内体制の構築などを推進します。



【例示】

- ア 商店街などにおけるまちのおもてなし機運の醸成
 - ・講演会や交流会の実施による商店主などの意識の向上
 - ・駅前商店街などと連携したまちにウエルカムな雰囲気醸し出す装飾など
- イ 商店街店主、市民の外国人とのコミュニケーション力の向上
 - ・英会話など外国語講座、翻訳スマートフォンアプリ活用 指さしシートなど簡易コミュニケーションツールの普及への取り組み
 - ・商店主などと外国人留学生などとの交流会やインターンシップの受け入れ促進
- ウ まち案内、多言語対応可能な人材の配置
 - ・まち案内ガイドの育成
- エ 外国人に対する災害時、疾病時などの相談・誘導體制整備
 - ・市の関係部署（防災課、健康推進課）との連携
- オ ユニバーサルデザインのまちづくり
 - ・標識・案内板、看板・商品札・メニューなどの標記の工夫、多言語化
- カ 交通手段の案内・整備など
 - ・わかりやすい交通手段の案内（表示、マップなど）
 - ・観光資源へのアクセスのしやすさの向上に向けた検討
 - ・多言語によるバス路線案内
 - ・レンタサイクルの活用
- キ 通信環境の充実
 - ・広域 Wi-Fi、店舗内 Wi-Fi の設置の推進、SIM の販売などの支援の検討
- ク 決済手段の多様化促進、国際規格 ATM 設置場所の案内など
 - ・各店舗などにおける各種クレジットカード、電子マネー決済導入の啓発
 - ・海外の銀行カードが使える国際規格 ATM 設置の推進やマップ化などによる周知
- ケ 宿泊施設の提供など
 - ・周辺市を含めた広域的連携の観点からの宿泊施設及び観光拠点情報の提供
 - ・民泊について、先行自治体や国の動向を注視しつつ、慎重に検討

基本方針による観光施策の振興のイメージ



6. 推進体制・役割分担

当方針に示した施策の推進に当たっては、次ページのイメージ図が示すとおり、市民、事業者、観光協会、市などの多様な主体がその自主性と責任において観光事業を計画、実施するとともに、観光協会がコーディネート役としての機能を発揮し、各主体間の調整や事業連携を図るほか、事業実施に向けた支援、交流の場の提供などを行い、民学産公の協働の取り組みを推進していきます。

各主体の主な役割は以下のとおりです。

(1) 市民の役割

- ア まちの魅力の再発見と情報発信
- イ 観光事業への積極的参加や創出
- ウ 地域の産業、歴史、文化への理解
- エ 地域愛の醸成 など

(2) 事業者の役割

- ア 観光客の滞在時間の拡大につながるような魅力的な事業運営
- イ 三鷹のブランドとなるような生産活動、新たな商品・サービスの開発への尽力
- ウ 賑わい創出のためのイベント実施や参加 など

(3) みたか都市観光協会の役割

- ア 観光情報の収集と発信
- イ 各事業主体の交流の場の提供
- ウ 観光振興を担う人財の育成
- エ 各事業主体間の連携、調整、事業創出支援（コーディネート機能）
- オ 市民や事業者が行う観光事業の質の向上、公共性の担保、継続性確保のための支援
- カ 市民・事業者・関係団体などの観光振興に関する意識の啓発・醸成 など

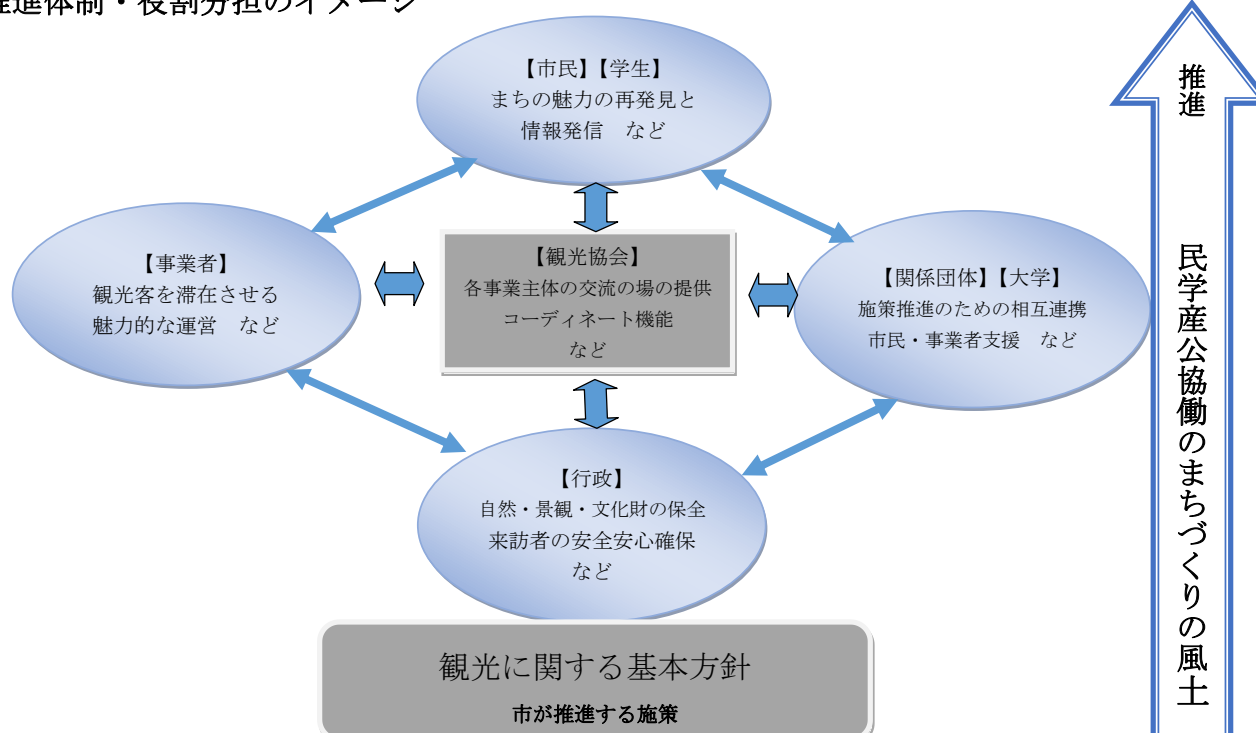
(4) 関係団体の役割

- ア 相互連携、協働の推進
- イ 観光事業を実施する市民や事業者への支援
- ウ 地域イベントへの協力、情報発信 など

(5) 三鷹市の役割

- ア 各主体が行う基本方針に沿った取り組みへの支援
- イ 標識や案内板、Wi-Fiなどの通信環境、道路や街並みなどの公的なハード整備
- ウ 自然、景観の保全・創出、意識啓発
- エ 来訪者の安全・安心の確保
- オ 周辺市などとの行政上の広域連携の推進
- カ 市民・事業者・関係団体の観光振興に関する意識の啓発・醸成 など

推進体制・役割分担のイメージ



7. 関連個別計画

下記の三鷹市の各個別計画とは内容の整合性を図りながら進めていきます。

- ・三鷹市産業振興計画 2022（第1次改定）
- ・三鷹市地域情報化プラン 2022（第1次改定）
- ・三鷹市地域防災計画 震災編（平成25年改定）
- ・三鷹市農業振興計画 2022（第2次改定）
- ・三鷹市健康福祉総合計画 2022（第1次改定）
- ・三鷹市緑と水の基本計画 2022（第1次改定）
- ・三鷹市景観づくり計画 2022
- ・三鷹市バリアフリーのまちづくり基本構想 2022（第1次改定）
- ・三鷹市交通総合協働計画 2022（第1次改定）
- ・”2020年”に向けた三鷹市の基本方針
～ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に～
- ・三鷹駅前地区再開発基本計画 2022

【用語解説】

- ※1 コミュニティツーリズム
身近なまちの魅力を市民との交流を通じて楽しむツーリズム。まち歩き観光もその一つ。
- ※2 コンテンツツーリズム
コンテンツの舞台である土地を訪れる観光行動の総称。コンテンツには文学や映画、テレビドラマ、歌、絵画、漫画やアニメ、歴史などが含まれる。

8. 参考資料

●検討委員会メンバー（14名）

	所 属	氏 名	備 考
1	杏林大学	古本 泰之	
2	三鷹商工会	佐藤 文典	
3	JA 東京むさし	小林 雅司	
4	JA 東京むさし三鷹地区青壮年部	須藤 金一	
5	三鷹市商店会連合会	荒井 正雄	
6	株式会社まちづくり三鷹	河野 康之	
7	NPO 法人三鷹市民協働ネットワーク	正満 たつる子	
8	公益財団法人三鷹国際交流協会	原島 法之	
9	公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団	佐藤 好哉	
10	NPO 法人みたか都市観光協会	金子 彰	
11	NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構	荒川 浩一	
12	三鷹市生活環境部	田口 智英	
13	三鷹市都市整備部	小泉 徹	
14	三鷹市教育委員会	宇山 陽子	

●ワーキングチームメンバー（23名）

	所 属	氏 名	備 考
1	杏林大学	井手 拓郎	
2	関口十一畳店	関口 博行	
3	小清水昇商店	小清水 英斗	
4	観光協会企画委員会	山田 浩之	
5	観光協会企画委員会	ル・モアン 直美	
6	三鷹商工会	小野 孝泰	
7	JA 東京むさし	川口 大志	
8	JA 東京むさし三鷹地区青壮年部	森屋 賢	
9	三鷹市商店会連合会	瀬尾 厚	
10	株式会社まちづくり三鷹	吉田 巳里子	
11	NPO 法人三鷹市民協働ネットワーク	安達 徹	
12	公益財団法人三鷹国際交流協会	原島 法之	
13	公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団	加藤 直子	
14	NPO 法人みたか都市観光協会	渡邊 正人	
15	NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構	吉田 賢	
16	杏林大学観光交流文化学科	岡野 未侑	
17	杏林大学観光交流文化学科	岡本 碧莉	
18	杏林大学観光交流文化学科	上松 茉佑香	
19	杏林大学観光交流文化学科	木村 優花	
20	杏林大学観光交流文化学科	戸嶋 美奈	
21	三鷹市総務部安全安心課	菊池 稔	
22	三鷹市都市整備部緑と公園課	中嶋 祐希	
23	三鷹市教育委員会事務局生涯学習課	下原 裕司	

●事務局（6名）

	所属	氏名	備考
1	三鷹市生活環境部	田口 智英	事務局 (再掲)
2	三鷹市生活環境部生活経済課	垣花 満	事務局
3		小野 貴嗣	事務局
4		倉橋 亨実	事務局
5		加藤 太一	事務局
6	NPO 法人みたか都市観光協会	渡邊 正人	事務局 (再掲)

会議開催記録

●検討委員会

開催日時	主な議題
第1回 平成28年7月12日	・観光に関する基本方針（仮称）策定の目的について ・三鷹市における観光施策の現状及び課題について
第2回 平成29年2月6日	・ワーキングチーム検討結果（概要）及び観光に関する基本方針（仮称）（案）について
第3回 平成29年3月24日	・観光に関する基本方針（仮称）（案）の確定について

●ワーキングチーム

開催日時	主な議題
第1回 平成28年7月14日	・観光に関する基本方針（仮称）策定の目的について ・三鷹市の観光施策の現状について
第2回 平成28年8月24日	・グループ討議「三鷹の魅力分析について」
第3回 平成28年9月29日	・グループ討議「三鷹の観光をSWOT分析してみよう」
第4回 平成29年2月16日	・ワーキングチーム検討結果（概要）及び観光に関する基本方針（仮称）（案）について

三鷹市観光基本方針

平成 29 年 3 月発行

三鷹市生活環境部生活経済課

〒181-8555 三鷹市野崎一丁目 1 番 1 号

電話 0422-45-1151